

2023年度 教育水準向上支援事業学校関係者評価結果報告書

2024年6月9日

宗教法人泉バプテスト教会附属 いづみ幼稚園

学校関係者評価委員会

	評価項目	評価	詳細
1	園庭遊び 2023年4月-2024年3月	A	園庭の真ん中にアスレチック遊具と一体化した形で植えられているマテバシイの木はいづみ幼稚園の象徴である。この木の維持管理は園の母体である泉バプテスト教会の信仰とも深くかかわる。教会は神がすべての生命を創造したと信じており、そして神はその管理を人間に委ねているからだ。行き届いた剪定が必要なゆえんである。マテバシイに子どもたちはよじ登り、マテバシイと共に育っている。その姿は創造主の喜ぶところと評価する。
2	絵本読み聞かせ 2023年4月-2024年3月	A	良質の蔵書が豊富なことはいづみ幼稚園の特長の一つである。それは普段の努力によって成り立つ。絵本をめぐる新しい知見を常に得ながら、実際に新しい絵本を購入して保育の場面で用いること、それによって個々の子どもたちに相応しい絵本が何であるかを知ることが教師たちに求められている。補助金によって、最新の絵本を子どもたちに提供できることは素晴らしいことであると評価する。
3	ICT ツールの充実 2023年4月-2024年3月	A	子育て施設用アプリ「コドモン」がいづみ幼稚園によって大いに活用されていることを歓迎している。教職員業務の軽減化が実際になされていることを確認した。今年度から預かり保育の実施日数時間数が拡大され、予約の管理と労務の管理が複雑になった。コドモン無しには業務量が大幅に増えることになったと推測する。業務軽減化に

			よって、教師たちが保育に対してより集中できる環境づくりがなされていると評価している。
4	カプラ 2023年4月-2024年3月	A	カプラという独特の積み木は子どもたちの想像力を育成することに効果的であると認める。幼稚園では年中組からカプラを自由に遊ばせ、年長組から専門家の指導を行っていることを確認した。子どもの発達段階に応じていること、そして年長組進級後まもなくという時期に専門家によるワークショップを実施することで、卒業までカプラを十全な形で保育に活用していることを評価している。
5	園外保育 2023年4月-2024年3月	A	いづみ幼稚園は泉バプテスト教会のキリスト教信仰を基にしてアウトドア活動を保育に採り入れている。アウトドアキャンプや山登り、雪遊びなどは、神の創った作品である自然に直接触れ合う好機である。自然は子どもたちを育む。それと同時に、子どもたちにとって危険な場面もありうる。専門家による引率が必要なゆえんである。国際自然大学校や東京YMCAなどさまざまな専門業者とのネットワークが活用され、園外保育の下支えとなっていることを評価する。
6	地域への情報発信 2023年4月-2024年3月	A	経営コンサルタント業者（株式会社いちたす）の助言を受けてウェブサイトの全面的な改良、インスタグラムの新規開設をしたことを確認した。ウェブサイトの改装においては専門業者ヒラムとの定期的技術的な指導を受け、コンサルタント業者からも高い評価を受けた。同業他園よりも優れた発信ができていますと評価している。さらに、インスタグラムを開設しほぼ毎日投稿を続けていることがウェブサイトの発信力を補強している。いづみ幼稚園の保育を可視化

			する働きを高く評価している。
7	運動会ごっこ、運動会 2023年9-10月	A	運動会はいづみ幼稚園の特長が示される中心的行事の一つである。特に年長組の竹馬は5月から練習を積んでいる。いづみ幼稚園は園庭が狭く、毎年近隣の駒繫小学校校庭を借用している。そのため子どもたちにとっては初めての場所での竹馬乗りとなる。一人ずつ高さは異なり、安全を期してはいるがより多くの人員配置が必要とされることを確認した。また、運動会は泉バプテスト教会員や卒業生、関係者たちとの交わり場としても活用されている。さまざまな人々の行きかう場を保障するために、多くの人員が必要とされていることを確認した。「コロナ後」となった2023年度運動会当日は大いににぎわい、安心して一所懸命に運動する子どもたちの姿にさわやかな感動を覚えた。高く評価する。
8	クリスマス 2023年11-12月	A	キリストの誕生を祝う「待降節」(Adventという)は教会暦の冒頭に位置する。神が人となったこと、しかも赤ん坊としてこの地上に登場したことを記念する季節である。欧米の伝統に倣い、クリスマスツリー、クランツ、リースを、常緑樹を素材にして作成することにより、「永遠の生命」の価値を子どもたちに届けようとする意図を評価する。またキャンドルサービスを行うことで「闇の中の光」(=希望)の存在を教育的に伝えていることも評価する。これらは子どもの五感に訴えているので教育効果が高いことを認める。赤ん坊として生まれたキリストを、子どもたち自身が心に迎え入れることが泉バプテスト教会の願いであるので、これからも力を入れてこの行事を行ってほしい。